

令和6年6月10日

## 【富山県美術館】「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」開催および一般前売券販売のお知らせ

富山県美術館では、2024年7月13日(土曜日)～9月23日(月曜日・振替休日)の間、「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」を開催します。一般前売券は2024年6月16日(日曜日)から販売します。



約100年前に思想家・柳宗悦が説いた民衆的工芸、「民藝」。日々の生活のなかにある美を慈しみ、素材や作り手に思いを寄せる、この「民藝」のコンセプトはいま改めて必要とされ、私たちの暮らしに身近なものとなりつつあります。

本展では、民藝について「衣・食・住」をテーマにひも解き、暮らしで用いられてきた美しい民藝の品々約150件を展示します。また、いまに続く民藝の産地を訪ね、そこで働く作り手と、受け継がれている手仕事も紹介します。さらに、一昨年までセレクトショップ BEAMS のディレクターとして長く活躍し、現在の民藝ブームに大きな役割を果たしてきたテリー・エリス／北村恵子 (MOGI Folk Art ディレクター) による、現代のライフスタイルと民藝を融合したインスタレーションも見どころのひとつです。

### 開催概要

#### 展覧会名

民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある

#### 会期

2024年7月13日(土曜日)～9月23日(月曜日・振替休日)

#### 開館時間

9時30分～18時00分 (入館は17時30分まで)

## 休館日

---

毎週水曜日（ただし8月14日は開館）7月16日（火曜日）、9月17日（火曜日）

## 会場

---

富山県美術館2階 展示室2、3、4

## 主催

---

富山県美術館、北日本新聞社、北日本放送、朝日新聞社、東映

## 特別協力

---

日本民藝館

## 協力

---

静岡市立芹沢銈介美術館、カトーレック

## 協賛

---

立山科学グループ、トヨタモビリティ富山（五十音順）

## 企画展公式サイト

---

<https://mingei-kurashi.exhibit.jp/>（外部サイトへリンク）（別ウィンドウで開きます）

## 観覧料

---

一般前売り：1,000円、一般：1,300（1,000）円、大学生：650（500）円、高校生以下無料  
（）内は20名以上の団体料金  
一般前売券の販売は7月12日（金曜日）まで。

### 【前売券販売所】

富山県美術館、富山県水墨美術館、アーツナビ

### 【館内限定販売 宮入圭太 アートサコッシュセット（本展観覧券つき）】

今、注目の染色家／アーティスト・宮入圭太氏の描きおろし作品があしらわれたサコッシュ（斜め掛けの小型バッグ）に、本展観覧券（一般1,300円）1枚がついたセットです。

販売価格：2,800円（税込）数量限定

- ・本セットは富山県美術館1階ミュージアムショップで販売いたします。
- ・このサコッシュは本セット限定デザインです。同サイズで別デザインのサコッシュを1,800円（税込）でショップにて販売予定です。

## 本展の見どころ

## 第Ⅰ章：1941 生活展—柳宗悦によるライフスタイル提案

---

1941（昭和16）年、柳宗悦は自身が設立した日本民藝館（東京・目黒）で「生活展」を開催。民藝の品々で室内を装飾し、いまでいうテーブルコーディネートを展示しました。暮らしのなかで民藝を活かす手法を提示した、モデルルームのような展示は当時珍しく、画期的でした。第Ⅰ章では実際に出品された作品を中心に、「生活展」の再現を試みて、柳が説いた暮らしの美を紹介します。

## 第Ⅱ章：暮らしのなかの民藝—美しいデザイン

---

柳宗悦は、陶磁、染織、木工などあらゆる工芸品のほか、絵画や家具調度など多岐にわたる品々を、日本のみならず朝鮮半島の各所、中国や欧米などへ旅し、収集を重ねました。時代も古くは縄文時代から、柳らが民藝運動を活発化させた昭和にいたるまでと幅広く、とりわけ同時代の、国内各地で作られた手仕事の日常品に着目し、それらを積極的に紹介しました。第Ⅱ章では民藝の品々を「衣・食・住」に分類し、それぞれに民藝美を見出した柳の視点をひも解きます。

## 第Ⅲ章：ひろがる民藝—これまでとこれから

---

柳宗悦の没後も民藝運動は広がりを見せました。濱田庄司、芹沢銈介、外村吉之介が1972（昭和47）年に刊行した書籍『世界の民芸』では、欧州各国、南米、アフリカなど世界各国の品々を紹介。各地の気候風土、生活に育まれたプリミティブなデザインは民藝の新たな扉を開きました。

一方、民藝運動により注目を集めた日本各地の工芸の産地でも、伝統を受け継いだ新たな製品、職人たちが誕生しています。本展では富山県の八尾和紙など国内5つの産地から、これまでと現在作られている民藝の品々や、そこで働く人々の“いま”を紹介します。

そして、本章最後では、現在の民藝ブームの先駆者ともいえるテリー・エリス／北村恵子（MOGI Folk Art ディレクター）の愛蔵品や、世界各地で見つけたフォークアートが“いま”の暮らしに融合した「これからの民藝スタイル」を、インスタレーション展示で提案します。

## 会期中のイベントについて

---

### トークイベント

---

現在の民藝ブームをリードしてきたテリー・エリス氏と北村恵子氏、長年八尾和紙の製造に携わられてきた桂樹舎・吉田泰樹氏をお招きし、本展の見どころや富山の民藝についてお話しいただきます。

講師：テリー・エリス氏／北村恵子氏（MOGI Folk Art ディレクター）×吉田泰樹氏（桂樹舎 代表取締役社長）

日時：2024年7月13日（土曜日）14時00分～15時30分

場所：富山県美術館3階 ホール

定員：70名（事前申込不要・当日先着順）

参加費：無料

## 講演会「暮らしのなかの民藝」

---

本展監修者である森谷美保氏に、柳宗悦が説いた民藝の思想をはじめ、民藝運動で柳や同人たちが着目した暮らしのなかの美への眼差し、富山の民藝など、出品作にまつわるエピソードや解説を軸としてお話しいたします。

講師：森谷美保氏（美術史家・本展監修者）

日時：2024年8月4日（日曜日）14時00分～15時30分

会場：富山県美術館3階 ホール

定員：70名（事前申込不要・当日先着順）

参加費：無料

## ワークショップ「八尾和紙型染め体験」

---

本展にも出品されている、八尾和紙を製作する桂樹舎の吉田泰樹氏をお招きし、八尾和紙への「型染め」体験を行います。

日時：【1日目】8月10日（土曜日）14時00分～15時30分 【2日目】8月12日（月曜日）14時00分～15時00分

会場：富山県美術館3階 アトリエ

講師：吉田泰樹氏（桂樹舎 代表取締役社長）

参加者数：12名

対象年齢：小学生～大人（小学生の場合は要保護者同伴）

参加費：無料 事前予約制 抽選

※このワークショップは、2日かけて行います。どちらか1日のみのご参加はできません。

※内容は予告なく変更になる場合があります。

※会期中のイベントの詳細は、当館ホームページやSNS等でお知らせします。

## ギャラリーツアー

---

会場を巡りながら、担当学芸員が本展の概要や見どころについてお話します。

日時：2024年8月24日（土曜日）、9月7日（土曜日）各日14時00分～14時30分

場所：富山県美術館2階 企画展示室4 入口に集合

参加費：無料（ただし、当日有効の企画展観覧券が必要です。）

## お客様へのお願い

---

ご来館の際は、当館ホームページの「入館時のお願い」をご確認ください。

土日祝の混雑時には、入場制限を行う場合がございます。

## ご取材・掲載用写真について

---

広報層画像提供・取材申込書については、下記申請書にご記入の上、ご送付をお願いいたします。

広報用画像提供・取材申込書（PDF：4,460KB）（別ウィンドウで開きます）



富山県美術館  
アート & デザイン

民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある  
広報用画像一覧

画像①	画像②	画像③	画像④
画像⑤ ※単独使用不可	画像⑥	画像⑦	画像⑧
画像⑨	画像⑩	画像⑪	画像⑫
画像⑬	画像⑭	画像⑮	画像⑯
画像⑰	画像⑱	画像⑲	

お問い合わせ

富山県美術館 〒939-0806 富山県富山市木場町 3-20

tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712

メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

担当 : 広報に関して : 川浦 展覧会に関して : 内藤、遠藤、竹花、田辺



民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある  
広報用画像申込書(1/2)E-mail : [abijutsukan@pref.toyama.lg.jp](mailto:abijutsukan@pref.toyama.lg.jp) / FAX 076-431-2712

■別紙記載の注意事項をお読みいただき、以下の必要事項をご記入の上、お送りください。

申込日			
貴媒体名			
WEB の場合の URL			
貴社名/部署			
ご担当者氏名			E-mail :
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
掲載/放送予定日	年 月 日	掲載号発売日	年 月 日
掲載企画内容	※ご取材希望の場合はこちらに内容、希望日をお書きください。		

※ご記入いただいた個人情報は、広報用写真貸し出しの目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。  
その他、美術館外観等の写真が必要な場合は、下記空欄にご記載ください。

## お問い合わせ

富山県美術館 〒939-0806 富山県富山市木場町 3-20

tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712

メール : [abijutsukan@pref.toyama.lg.jp](mailto:abijutsukan@pref.toyama.lg.jp)

担当 : 広報に関して : 川浦 展覧会に関して : 内藤、遠藤、竹花、田辺



民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある  
 広報用画像申込書 (2/2)

E-mail : [abijutsukan@pref.toyama.lg.jp](mailto:abijutsukan@pref.toyama.lg.jp) / FAX 076-431-2712

■掲載ご希望の画像 (□にチェックを入れてください)

✓	No.	広報用画像一覧・掲載時のキャプション
<input type="checkbox"/>	1	「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」ポスター
<input type="checkbox"/>	2	スリップウェア鶏文鉢 イギリス 18 世紀後半 日本民藝館蔵 Photo:Yuki Ogawa
<input type="checkbox"/>	3	(上から) 竹行李 陸中鳥越(岩手) 1930 年代/ 刺子足袋 羽前庄内(山形) 1940 年頃 いずれも日本民藝館蔵 Photo:Yuki Ogawa
<input type="checkbox"/>	4	(上から) 緑黒釉掛分皿 因幡牛ノ戸(鳥取) 1931 年頃/ 流描皿 河井寛次郎 京都 1927-28 年頃/ 藍鉄絵紅 茶器 濱田庄司 栃木 1935 年頃/ 食器棚 イギリス 19 世紀いずれも日本民藝館蔵 Photo:Yuki Ogawa
<input type="checkbox"/>	5	(左から) 角酒瓶 小谷眞三 倉敷(岡山) 1979 年/ 酒瓶 小谷眞三 倉敷(岡山) 1985 年頃/ 栓付瓶 メキシコ 20 世紀中頃いずれも日本民藝館蔵 Photo:Yuki Ogawa
<input type="checkbox"/>	6	日本民藝館「生活展」会場写真 1941 年
<input type="checkbox"/>	7	チャイルズ・スクロールバック・アームチェア イギリス 19 世紀 日本民藝館蔵
<input type="checkbox"/>	8	(上から) 流描指輪(2点) 河井寛次郎(細工:増田三男) 京都 1930-40 年代/ 赤漆彫文帯留(右) 黒田辰秋 京都 1930 年頃/ 銀象嵌赤漆花字帯留(左) 青田七良 京都 1930 年頃/ 色絵五弁花模様帯留 富本憲吉(細工:増田三男) 東京 1931 年/ 染付更紗模様帯留 富本憲吉(細工:増田三男) 東京 1931 年いずれも個人蔵 Photo:Yuki Ogawa
<input type="checkbox"/>	9	波に鶴文夜着 江戸~明治時代 19 世紀 静岡市立芹沢銈介美術館蔵
<input type="checkbox"/>	10	厚司(アットゥシ) アイヌ(北海道) 19 世紀 静岡市立芹沢銈介美術館蔵
<input type="checkbox"/>	11	刺子稽古着 江戸時代 18-19 世紀 日本民藝館蔵
<input type="checkbox"/>	12	流水に桜河骨文紅型着物 首里(沖縄) 19-20 世紀前半 静岡市立芹沢銈介美術館蔵
<input type="checkbox"/>	13	スリップウェア角皿 イギリス 18 世紀後半-19 世紀後半 日本民藝館蔵 Photo:Yuki Ogawa
<input type="checkbox"/>	14	網袋(鶏卵入れ) 朝鮮半島 20 世紀初頭 日本民藝館蔵
<input type="checkbox"/>	15	(手前) 塗分盆 江戸時代 18 世紀/ (盆上左から) 染付羊歯文湯呑、染付蝙蝠文湯呑、染付雨降文猪口 肥前有田(佐賀) 江戸時代 18-19 世紀いずれも日本民藝館蔵 Photo:Yuki Ogawa
<input type="checkbox"/>	16	緑黒釉掛分皿 因幡牛ノ戸(鳥取) 1931 年頃 日本民藝館蔵 Photo:Yuki Ogawa
<input type="checkbox"/>	17	小鹿田焼(大分、現代作:坂本工窯、坂本浩二窯) Photo:Yuki Ogawa
<input type="checkbox"/>	18	八尾和紙(富山、製作風景:桂樹舎) Photo:Yuki Ogawa
<input type="checkbox"/>	19	MOGI Folk Art ディレクターのテリー・エリスと北村恵子 Photo:Yuki Ogawa

お問い合わせ

富山県美術館 〒939-0806 富山県富山市木場町 3-20

tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712

メール : [abijutsukan@pref.toyama.lg.jp](mailto:abijutsukan@pref.toyama.lg.jp)

担当 : 広報に関して : 川浦 展覧会に関して : 内藤、遠藤、竹花、田辺



## 富山県美術館 広報用使用画像について

- ◎ 本広報用画像の使用は、出版・放送（番組）・WEB等、富山県美術館および展覧会の広報を目的とした報道に限らせていただきます。展覧会の広報にあたっては、展覧会名、会期、会場を必ずご掲載ください。
- ◎ 画像は「広報用画像申込書」に掲載または放送内容を具体的に記載の上、ご申請ください。富山県美術館より画像データをお送りいたします。提供した画像データは、使用后すみやかに破棄してください。
- ◎ 画像使用の際は、「広報用画像申込書」をご参照の上、所定のキャプションとクレジットを表記してください。
- ◎ 画像はトリミング（切り取り）はせず、全図で使用してください。作品が切れたり、キャプション等の文字や他の画像を重ねてのご使用はできません。
- ◎ WEBにてご掲載の場合には、コピーガード（※右クリック不可）を施す、画像サイズを落とすなど、2次使用防止への可能な限りのご対応をお願いします。
- ◎ ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横切らせたり、余白を削除したりすることはしないでください。
- ◎ 申請をいただいた媒体以外の企画（例：出版物表紙、広告素材使用は不可）での二次利用はできません。再掲載・再放送などを希望される場合は、別途申請が必要です。
- ◎ 基本情報と画像使用の確認のため、校正をメールで富山県美術館広報担当までお送りくださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載および放映いただいた場合、お手数ですが掲載紙・誌、URL、番組収録のDVD、CDなどを富山県美術館へのご提供をお願いいたします。

### お問い合わせ

富山県美術館 〒939-0806 富山県富山市木場町 3-20

tel：076-431-2711 fax：076-431-2712

メール：abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

担当：広報に関して：川浦 展覧会に関して：内藤、遠藤、竹花、田辺

